

疾患名

膵癌

No.264

プロトコール名

オニバイド+5-FU+I-LV

進行・再発癌

術後補助化学療法

術前補助化学療法

大量化学療法

局所療法

その他(維持療法)

投与順	抗癌剤名(商品名・略号)	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日(d1, d8等)
1	nanoliposomal イリノテカン (オニバイド・nal-IRI)	70mg//m2	div	90分	d1
2	レボホリナート(I-LV)	200mg/m2	div	2時間	d1
3	5-FU	2400mg/m2	div	46時間	d1-2
1コース期間 (次コースまでの標準期間)		2週間毎			
総コース数		PDまたは効果のある限り継続			
コース間での休薬の規定		好中球数1500/mm <sup>3</sup> 未満、発熱性好中球減少症、血小板数10万/mm <sup>3</sup> 未満、下痢Grade1以下、その他の副作用Grade1以下			
減量規定・中止基準		減量基準 ・Grade3以上の好中球減少または発熱性好中球減少症、Grade3以上の白血球減少、血小板減少、下痢→nal-IRI及び5-FUを1段階減量 ・Grade3以上の悪心・嘔吐→nal-IRIを1段階減量 ・その他のGrade3以上の有害事象→nal-IRI及び5-FUを1段階減量 nal-IRI: 70→50→43→35、5-FU: 2400→1800→1350			
投与量の増量規定		UGT1A1遺伝子変異あり 50mg/m <sup>2</sup> で忍容性がある場合は70mg/m <sup>2</sup> まで増量可			
投与期間の短縮規定		なし			
コースによる変化		なし			
1日の中での抗癌剤投与順		nal-IRI→I-LV→5-FU			
プレ Medikation・ポスト Medikation		プレ Medikation: グラニセトロン1mg、デキサメタゾン注6.6mg、ブチルスコプラミン注20mg			

患者条件(初回条件)

CTCAE v5.0

- ・癌化学療法後に増悪した治療切除不能な膵癌(2nd以降)
- ・KPS≥70
- ・十分な骨髓機能、肝機能、腎機能を有する

除外規定

- ・重度の下痢(水様便)、腸管麻痺、腸閉塞のある患者
- ・重篤な肝障害、腎障害のある患者
- ・間質性肺炎又は肺線維症のある患者
- ・多量の腹水、胸水、黄疸のある患者
- ・本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
- ・骨髓機能抑制や感染症を合併している患者
- ・アタザナビル硫酸塩を投与中の患者

実施上の注意点

オニバイド: 調製後6時間以内に使用

その他(特記事項)

UGT1A1遺伝子検査が必要(ホモやダブルヘテロの場合はオニバイドを50mg/m<sup>2</sup>を開始用量)  
参考: オニバイドのイリノテカンフリー体70mg/m<sup>2</sup>→イリノテカン80mg/m<sup>2</sup>に相当  
薬剤が血管外に漏れた場合は、生理食塩液や滅菌水で洗い流し、患部を水で冷すこと。